

# ほ ほ え み

桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号  
 電話番号 0277-44-7171(代) FAX 0277-44-7170  
 URL <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



新年明けまして  
 おめでとうございます

院長 まるた さかえ  
 丸田 栄

桐生市・みどり市の皆様にとって、この新しい年がとても素晴らしい一年でありますように、心から祈念申し上げます。

長らく医療は、失われた健康を取り戻すことが主要な目的でした。桐生厚生総合病院でも、進歩の目覚ましい医療技術・医薬品・医療器具などを駆使できるチーム医療の実践で、総合的な医療が可能となり、患者さんへのサービスが確実に向上してきたと考えます。

さらに積極的な医療・介護介入を回復期に行うと飛躍的に<sup>ちゆ</sup>治療時間の短縮がなされ、生活の質向上も図れる患者さんも徐々に増えてきました。そこで従来の治療中心から、介護・生活支援重視へと移りはじめました。それは治療困難な病態の完治を目指す長期入院から、慢性病態のままで社会生活復帰を重視する短期入院・外来診療優先の医療に変貌してきました。この背景には、高齢者医療の諸事情や医療を取り巻く社会情勢<sup>へんぼう</sup>の変貌も関わって、医療の多様性・効率性が求められた結果だと思えます。

ここ数年は、「治る医療」から「病と共存の時代」へと変わる分岐点だと考えます。そこで、今後は、医療提供者は情報を透明化した「納得の診療」を推進し、患者さんは診療の自己選択とその結果の受容を求められます。こうした責任の在り様への相互理解と協力が、慢性病を抱える患者さんを医療者が支える良好な関係構築にとっても重要になって来ています。

また、医療資源（人・物・資金）は無尽蔵ではありません。限られた条件で結果を求められる医療現場では、特に夜間・休日診療体制の見直しが急務です。当院でも医師の過労と<sup>ひへい</sup>疲弊は<sup>つな</sup>離職へと繋がることとなり、病院崩壊へと進む可能性があります。この状況の解決には、受診条件を二次救急診療に見合う適正化が必要であり、本年2月から軽症者の時間外診療費特別料金の導入に移行します。この試みは桐生厚生総合病院の医療環境の整備であり、医療者を守り、病院機能を守り、私たち職員の活躍で、医療サービスを堅実に進め、地域医療保全を図るためです。両市民の皆さんには、この結論に至る状況を是非ご理解いただき、ご協力をお願い致します。

私たち病院職員は、両市民の皆さんの健康を願い、病からの健康回復支援を仕事とする自覚を持っています。しかし医師の確保、診療科の拡充、病院機能の充実など、まだまだ多くの課題も抱えています。地域医療の質向上を責務と邁進する桐生厚生総合病院を今後も変わらずご支援くださるよう、宜しく願い致します。



# 時間外診察費特別料金について

桐生厚生総合病院は、救急医療においては、入院や手術など重症の患者さんを主に対象とする「二次救急病院」ですが、軽症の多くの人たちが夜間や休日に来院するため、本来の業務にさまざまな支障が生じてきています。医師不足もありますが、入院医療の充実のために皆様のご協力が不可欠となってきています。

このため、症状の軽い患者さんについては、夜間・休日での診察は、次のように「時間外診察費特別料金」を徴収させていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

開始日 平成23年2月1日  
対象時間等 平日・・・夜間 17時30分～翌日8時45分  
休日・・・土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12/29～1/3）  
金額 3,360円（税込）

※夜間・休日の時間外に受診され、下記徴収対象外①から③に該当しなかった場合は

お支払い金額＝実施保険診療費＋3,360円となります。

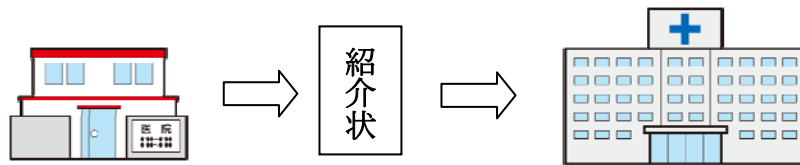
また、福祉医療費受給者証をお持ちの方も下記①から③以外で受診された場合、徴収対象となりますのでご留意願います。

ただし、身体障害者手帳1・2級の人からは、徴収致しません。

徴収対象外 ①入院を必要とした場合



②救急外来受診のため、他院からの紹介状を持参された場合



③緊急な処置対応が必要と判断された場合



当院の“救急医療”について医師や看護師がご説明します。

私たちのまちの  
医療を考える

「市民公開講演・救急医療の医療現場から」を開催

日時：平成23年1月16日（日）午後2時

場所：桐生地域地場産業振興センター第2ホール



問い合わせ先

桐生厚生総合病院 総務課

(☎0277-44-7174)

# かか インフルエンザに罹らないようにするには…

感染対策室 感染管理認定看護師 おおもり ゆうこ  
大森 優子

昨年は、新型インフルエンザ（H5N1）の流行によって多くの皆さまが不安を抱いたと思いますが、季節性インフルエンザと同等の治療と予防で十分に対応できることが分かっています。

インフルエンザがこういった病気なのか、対策はどうするのかを知ることで、ご家庭でもある程度予防が可能となります。

## Q. インフルエンザはどういう病気ですか？

インフルエンザウイルスによる感染症で、鼻やのど、気管支に炎症を起こしやすいとされています。症状は、急な発熱（38℃以上）、のどの痛み、咳、関節痛、筋肉痛などがあります。

通常は、治療をしなくても1週間程度で自然治癒しますが、乳幼児やお年寄り、持病のある人の中には肺炎などで重症になる人もいるため注意が必要です。

## Q. インフルエンザを予防するためには必要なことは何ですか？

インフルエンザは、罹っている人の咳やくしゃみ、唾液などを気道に吸い込むことで感染します。インフルエンザが流行してきたら、お年寄りや乳幼児などは人の多い場所をさけ、マスクの着用を心がけましょう。また、帰宅後の手洗いとうがいを勧めます。

## Q. インフルエンザワクチンの接種は効果がありますか？

インフルエンザワクチンを接種したからといって、絶対にインフルエンザにかからないというわけではありません。ワクチンの接種を行うことで、インフルエンザによる重い合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にとどめることが期待できます。

また、インフルエンザワクチンは効果が長続きしないため、毎年接種することが必要となってきます。



## 認定看護師の活躍

皮膚・排泄ケア認定看護師

かない みき  
金井 美紀

皮膚・排泄ケア認定看護師は、創傷・褥瘡（床ずれ）・ストーマケア（人工肛門）・尿便失禁に伴い生じる問題を解決できるよう、適切な皮膚ケアを行っていきます。現在、県内に18名在籍しており、当院には、私を含め2名在籍しております。

主な活動内容は、

1. 創傷（褥瘡）・ストーマ・失禁患者さんとその御家族の抱える問題に対して、的確に判断し専門的な技術を用いて、一人ひとりに合わせた、きめ細やかなケアを提供しています。
2. 褥瘡対策チーム：月1回の回診及び医師・看護師・他職種の人たちとの情報交換
3. ストーマ外来：毎週火曜日（14時～17時30分）
4. 病院職員への相談、指導、教育  
などが挙げられます。

創傷（褥瘡）・ストーマを持つ患者さんは、病気のほかに変わってしまった自分の身体を受け入れられるまでには、いろいろな不安が生じてきます。その不安を一つ一つ解決し、1日も早く普段通りの生活に戻ることができるよう、皮膚・排泄ケア認定看護師として、医師・病棟スタッフと協力し援助していきます。







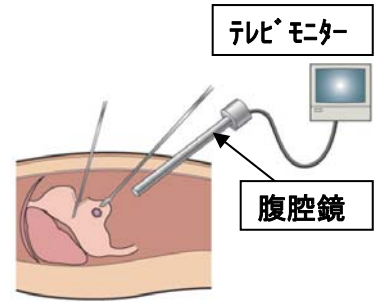
# ふくくうきょう 腹腔鏡手術

外科診療部長

まちき ゆういち  
待木 雄一

開腹手術に比べて患者さんの負担が少ない腹腔鏡手術が最近注目を集めています。当院でも行っております本手術について、お話をさせていただきます。

腹腔とは、いわゆる「おなかのなか」であり、腹腔鏡はおなかの中を観察するカメラ（電子スコープ）です。原理は胃カメラと同じで、おなかの中の様子をテレビモニター画面に映し出します。腹腔鏡手術は、腹部に5～12mm程の穴を4～5箇所あけて、そこから腹腔鏡や電気メスや超音波メス、鉗子という組織を持ったりはがしたりする器具などを入れて行う手術です。その際、炭酸ガスを腹腔内にいれておなかを膨らませ（気腹）、おなかの中に空間をつくり、手術を行います。切除する胃や腸をおなかから取り出すために1カ所だけ4cm程の傷をつくりませんが、従来の開腹手術の傷よりはるかに小さな傷で済みます。手術は全身麻酔で行います。



腹腔鏡手術の歴史は比較的新しく、日本では約20年前に始まり、今日では全国的に普及しつつあります。当初は、胆嚢摘出術が主でしたが、最近は胃癌や大腸癌などの消化器癌をはじめ腹腔内の多くの臓器に対して行われるようになりました。技術と器具の進歩もあり、ここ数年で飛躍的に手術件数が伸びてきています。

当院で行っている腹腔鏡手術について紹介させていただきます。

**胆石症に対する胆嚢摘出術：**高度の癒着が予想されるとき以外は、ほぼすべての症例が対象になります。胆嚢摘出術の約90%は腹腔鏡手術で行っています。

**大腸癌：**腫瘍が他臓器に浸潤している場合、腫瘍径が大きい場合（7～8cm以上）、腸閉塞を合併している場合は対象にならない場合もありますが、多くの大腸癌が対象になります。

**胃癌：**基本的に早期胃癌が対象です。進行癌に関しては、様々な状況に応じて行うこともあります。

消化器癌の手術では、癌の根治性を高めるためにリンパ節の切除が重要ですが、腹腔鏡手術においてもリンパ節切除の程度は開腹手術と同等に行っています。

その他：**鼠径ヘルニア**、**胃良性腫瘍の胃部分切除**、**腸閉塞の癒着剥離術**、**肝切除**、**虫垂切除**、**脾臓摘出**、**消化性潰瘍穿孔手術**も対象の範囲となります。

腹腔鏡手術は、傷が小さく美容的に優れているだけでなく、術後の痛みを軽減します。さらに、開腹手術と比べて腹腔内が直接空気にさらされないため、術後の腸の動きだしが早く食事でも早く開始できます。癒着が起きにくいいため腸閉塞症になりにくいなどの利点もあります。創部感染の発症頻度が低いとも言われています。このように患者さんの負担を減らすことにより、入院期間の短縮、早期の社会復帰が可能になりました。また腹腔鏡の拡大視効果で細部まで観察できますので、より緻密な手術が可能になり、出血量も減ります。

なお、安全性に問題がある場合には腹腔鏡手術からすぐに開腹手術に移行して、安全に手術を終えることが重要と考えています。当科での開腹手術への移行率は2～3%程です。

いくつかの臨床試験をまとめますと、腹腔鏡手術は開腹手術と比べ、手術時間が長くなるものの、出血量が少なく、術後の回復が早く、癌の治療成績としても遜色ないという結果が出ています。

患者さんのからだの負担が少ない腹腔鏡手術を、当科では今後も積極的に行ってゆきたいと考えております。わかりにくいことなどがありましたら、どうぞ御気軽に相談ください。





産婦人科は、常勤医 6 名、非常勤医 3 名で診療しています。群馬県内でも最も充実した体制です。当科の特徴は、群馬県の地域周産期母子医療センターに指定され、多くの母体搬送患者さんを引き受けているということです。母体搬送というのは、切迫早産や妊娠高血圧症候群（以前は妊娠中毒症）の患者さんが、胎児が子宮内にいる状態で救急搬送されることです。

群馬県内から多数の母体搬送の患者さんが来られ、治療を行っています。

早産や低出生児は、当院の NICU(新生児・未熟児センター) に入院し治療を受けます。

県内で NICU を有する施設はわずかであり、当院への搬送患者さんが年々増加しています。

H18 年度 64 例、H19 年度 86 例、H20 年度 102 例、H21 年度 133 例、今年度は半期で 79 例あり、150 例を超える勢いです。これは群馬県で最も多い数です。

搬送元の地域も、桐生市が最も多いのですが次いで伊勢崎、前橋が多く、埼玉県もかなりあります。



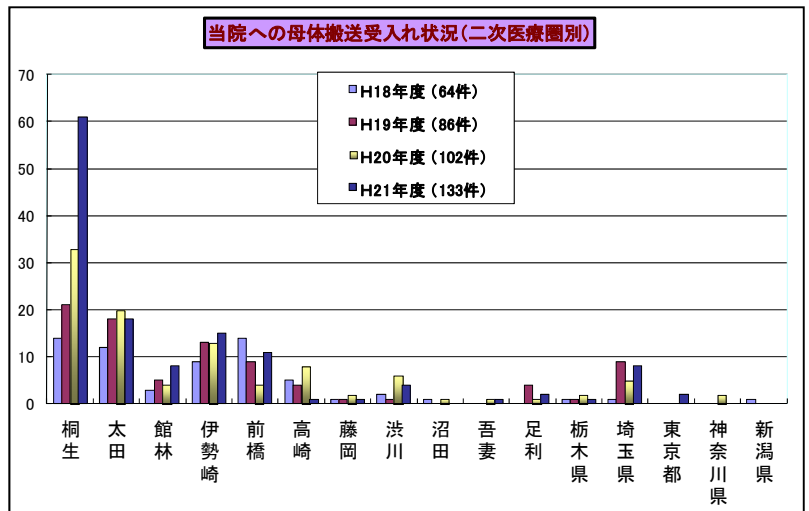
年間診療実績 (H21 年度)

患者数：外来 12,597 名（一日平均 52.1 名）、入院 12,666 名

分娩数：771 例、そのうち双胎 28 例、帝王切開術 256 例（帝切率 33.2%）、流産手術 87 例

婦人科手術：子宮筋腫 46 例、子宮脱手術 14 例、良性卵巣腫瘍 38 例、子宮頸がん 19 例、

子宮体癌 9 例、卵巣癌 17 例ほか、総計 523 例（含む帝切術、流産手術）と、過去最高です。



**助産師外来のご案内**

妊婦生活・お産・育児のこと…  
助産師とゆっくり話してみませんか？

外来で聞きたくても聞けなかったことや、ゆっくり話せなかったこと、疑問・悩み・相談にお応えします。

- 健診時間・場所  
毎週水曜日 午後2:00～5:00 産婦人科外来にて1人30分の完全予約制
- 健診料  
通常の健診料と同じ
- 対象となる方  
妊娠経過に問題がなく、担当医師の許可のある方  
合併症のない方  
既往歴に問題のない方が対象となります
- 健診内容  
尿検査  
臨床検査技師による超音波検査  
産婦人科外来にて血圧測定、体重測定、子宮底・腹囲測定、赤ちゃんの心音聴取、保健指導

助産師一同、心よりお待ちしております

お問い合わせ先  
桐生厚生総合病院産婦人科外来  
TEL. 0277-44-7171 内線334

助産師外来 (ほほえみ第 31 号掲載)

H22 年 1 月から、助産師外来を開設しました。医師の診察ではなかなか話せなかったことや心配なことを当院の助産師が対応いたします。ご希望の方は外来で予約いたします。

時間は毎週水曜日午後 14 時からで、1 人 30 分を予定しています。

今後の目標

1. 腹腔鏡手術の症例を徐々に増やして行く。
  2. 母体搬送症例を引き受けて行く。
  3. 地域連携を密にし、病診連携を進める。
  4. がん拠点病院として婦人科悪性腫瘍の治療、緩和医療などを進めて行く。
- など今後も地域に密着した医療を目指したいと思います。

(※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)